

1. ローズホルマン工科大学の生活

留学してから2か月が経ちました。9月下旬は夏の暑さがまだ残っていましたが、10月下旬になると、木々も紅葉に変わり、秋のシーズンに変わりました。英語で会話することによりやぐ抵抗感や違和感がなくなりました。本当に楽しいです。

さて、ローズホルマン工科大学には、数多くのイベントがあります。Homecoming や Bonfire や Halloween Party など毎週少なくとも1つはイベントが開催されています。どのイベントも規模が大きく、食事の用意があるイベントもあれば、イベント中に花火を打ち上げた時もありました。1つ1つのイベントにたくさんの人が集まり、とても盛り上がります。また、みんなとてもフレンドリーなため楽しく参加することができます。

ローズホルマン工科大学にはどんなものがあるのか、またどんなことができるのか自分で見たことを中心に簡単ですが、紹介します。

2. ATM

ローズホルマン工科大学には、1つだけATMがあります。クレジットカードでの引き出しができます（VISA と MASTER どちらも使用できます）。ただ、日本とアメリカのATMの使い方として、一回のお金の引き出しに手数料がかかります。また、残金をチェックするシステムもありますが、チェックすることだけでも手数料が発生します。

お金を引き出す際、ローズホルマン工科大学の場合10の倍数で引き下ろさなくてはなりません。例えば、10ドルや40ドルは引き下ろすことはできますが、5ドルや24ドルは引き下ろすことはできません。どの地域でもATMは○の倍数でしか引き下ろすことができないと思います。

お金をひき下ろす方法として、ATM で引き下ろす以外に銀行口座を作ることがあります。ただ私の場合は、ローズホルマン工科大学に1年以上滞在するならば、銀行口座をつくることにメリットがあるという説明を受けたので、約半年しか滞在しない私には必要ないことだと判断し、口座は作りませんでした。

3. パソコン

ローズホルマン工科大学では生徒一人一人にパソコンが配布されます。このパソコンは授業や課題に使用します。レポートを書くためやパソコンの中に入っているアプリケーションを使うためにパソコンを使用していました（私の場合は、Maple や PSpice を使用していました）。

パソコンは英語でしかタイプすることができないので、日本語でタイプすることも必ず必要になるため、自前のパソコンも必要ではないかと思います。配布されるパソコンは、無料ではなく、請求書にはパソコンにかかる費用が記載されているため、費用は自己負担になります。

4. 最後に

まだ約2か月ですが、ローズホルマン工科大学で留学生活をして、感じたことがあります。それは、みんなローズホルマン工科大学を誇りに思っていることです。実際に誰かに尋ねたわけではないが、大学のロゴやキャラクターのシャツやスウェットが販売されており、それを学生たちが購入し、実際に着て生活しているところが日本にはないことで大学にかける思いを感じました。また、イベントの中に無料でローズホルマン工科大学のロゴが入ったTシャツを配布していた時もありました。その中には、大学の創始者がメインであるシャツもありました。

学生と仲良くなるきっかけがたくさんあります。イベントでは、全員参加型のものが多く、みんながとてもフレンドリーであると感じました。授業や普段の生活以外にもみんなと関わる出来事がローズホルマン工科大学にはたくさんあります。

来月には秋学期が終了し、冬学期が始まりますが、英語力、海外との交流や講義の内容、1つでも多く吸収できるようにしたいです。以上で、10月分の留学報告書を終わります。